

# I

## 我が国の 水害リスクの現状

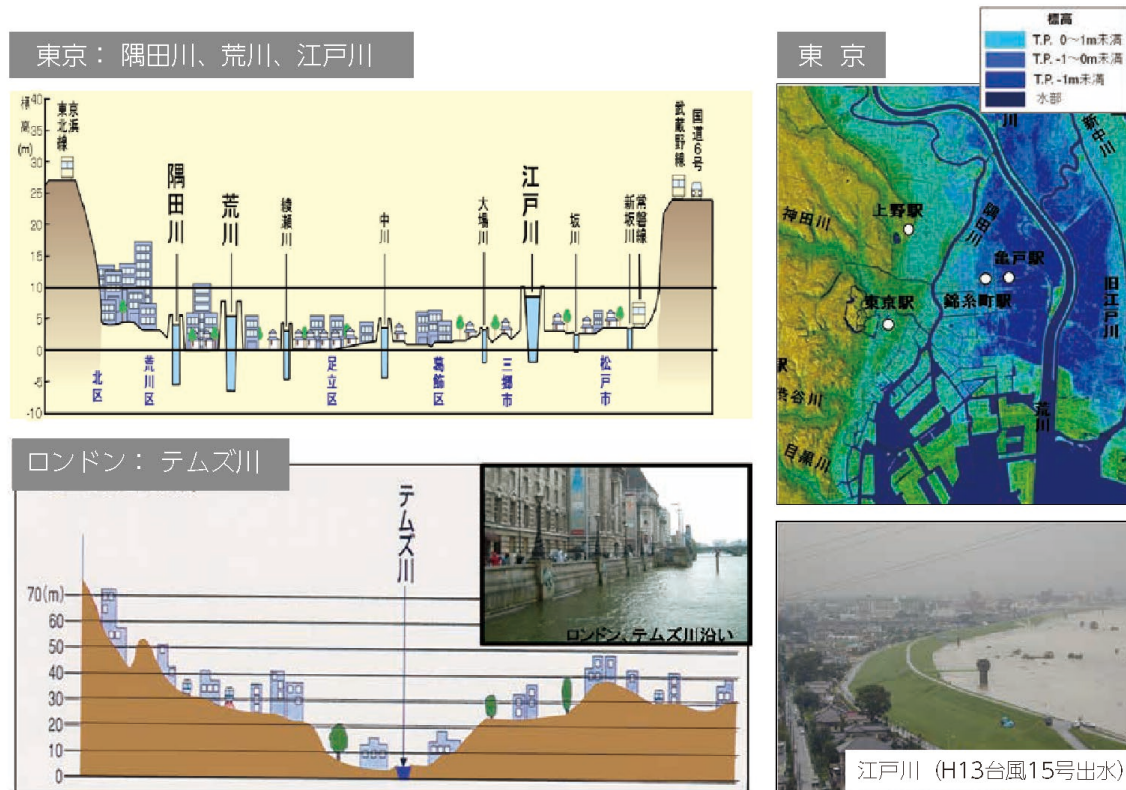
- 4 水害リスクの高い日本
- 5 都市化により高まる水害リスク
- 6 気候変動により高まる水害リスク
- 7 令和6年7月25日からの大雨による水害・土砂災害
- 9 令和6年台風第10号による水害・土砂災害
- 11 令和6年9月20日からの大雨による水害・土砂災害

## Ⅰ 我が国の水害リスクの現状

## 水害リスクの高い日本

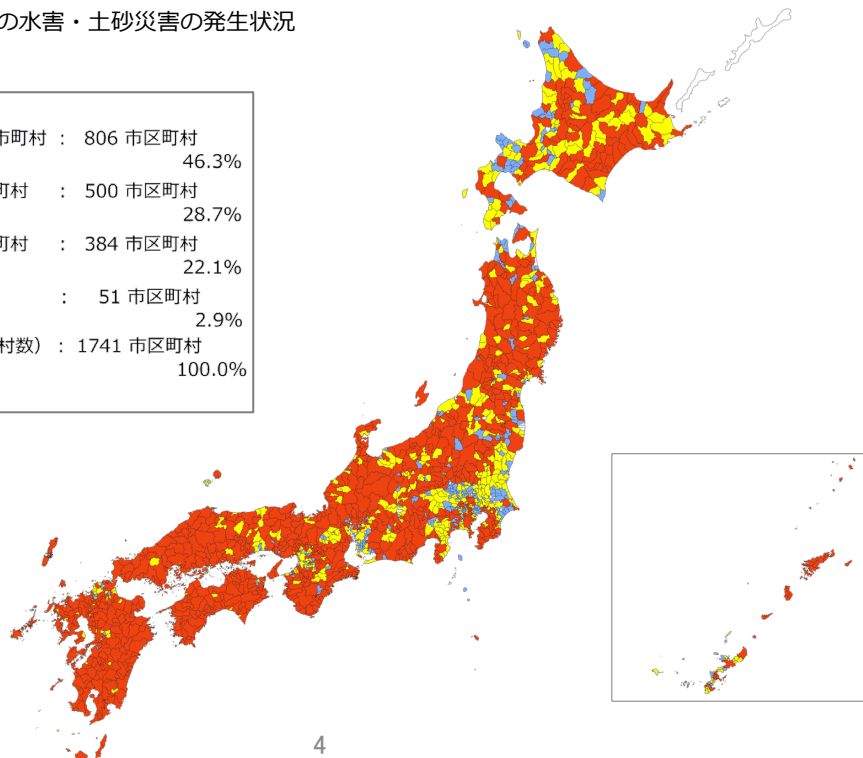
## 水害リスクの状況

- ・ わが国の多くの都市は、地盤沈下や天井川の形成などで海や河川の水位より低い土地に形成されている場合が多く、河川から水が溢れたり堤防が決壊したりすると大きな被害が生じることになります。
- ・ 過去10年間に約97%の市町村で水害・土砂災害が発生しました。



平成25年～令和4年の水害・土砂災害の発生状況

|                   |          |           |
|-------------------|----------|-----------|
| 水害・土砂災害が10回以上の市町村 | 806 市区町村 | 46.3%     |
| 水害・土砂災害が5～9回の市町村  | 500 市区町村 | 28.7%     |
| 水害・土砂災害が1～4回の市町村  | 384 市区町村 | 22.1%     |
| 水害・土砂災害が0回の市町村    | 51 市区町村  | 2.9%      |
| (令和4年末 全市区町村数)    |          | 1741 市区町村 |
|                   |          | 100.0%    |
| (出典：水害統計)         |          |           |



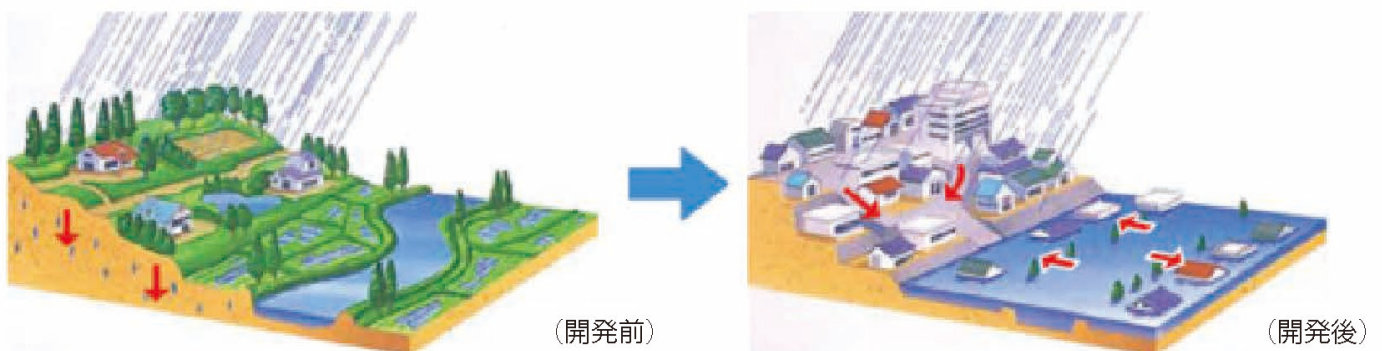
## Ⅰ 我が国の水害リスクの現状

## 都市化により高まる水害リスク

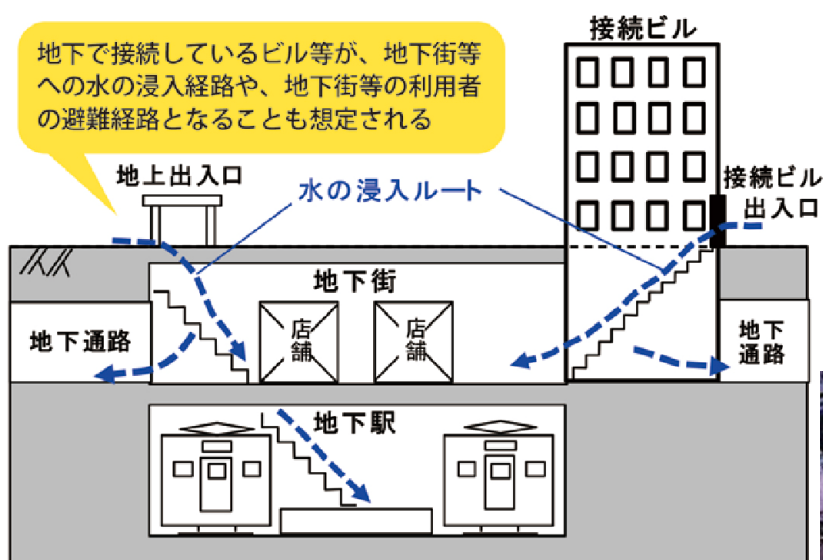
## 都市化による水害リスク

- ・ 都市化が進み、流域の多くが市街化し、自然遊水地が減少したことにより、短時間に多量の表流水が河川に流入するようになるため、雨が降った際の河川の水位上昇が急激になっています。
- ・ また、地下空間の利用が進んでいる大都市の駅前周辺等では、地下施設への浸水被害が生じるなど、水害リスクが高まっています。

## 開発前後の変化のイメージ



## 地下施設への浸水



地下街の浸水状況 1999年6月 福岡水害（福岡市）

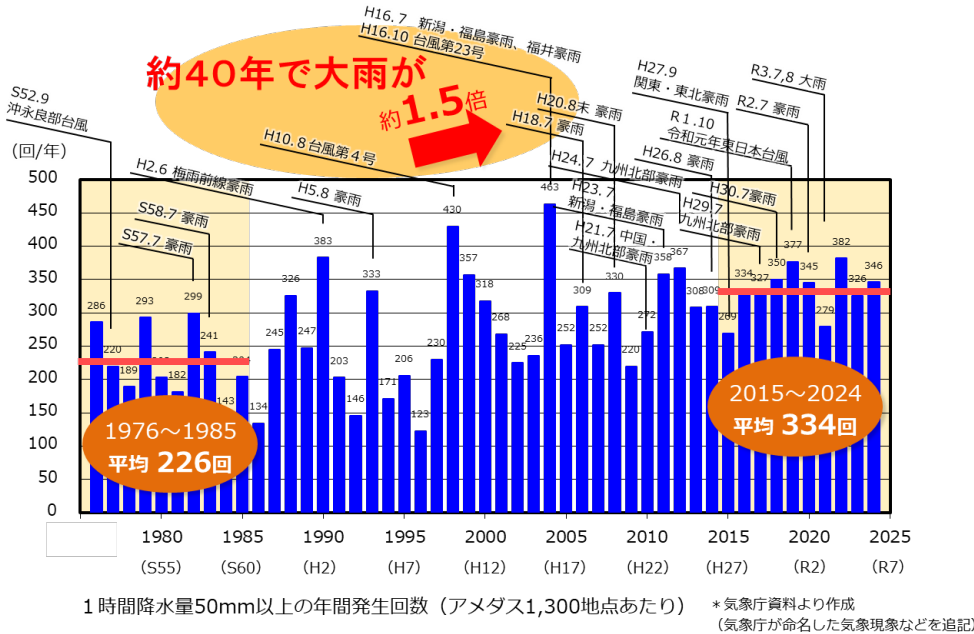
## 我が国の水害リスクの現状

## 気候変動により高まる水害リスク

## 気候変動の状況

- 地球温暖化に伴う気候変動の影響により、今後さらに大雨や短時間強雨の発生頻度や降水量などが増大することが予測されており、大規模な水災害が発生する懸念が高まります。

- 時間雨量50mmを超える短時間強雨の発生件数が増加（約40年前の約1.5倍）しています。



- IPCC（第6次評価報告書）によると、気候変動により外力の増加が懸念されます。

- 21世紀末までに、世界平均気温が1.0～5.7℃上昇（1850～1900年の平均との比較）、世界平均海面水位は0.28～1.01m上昇（1995～2014年の平均との比較）する可能性が高い（5種類のシナリオによる予測）。
- 地球温暖化の進行に伴い、大雨はほとんどの地域でより強くより頻繁になる可能性が非常に高い。

- 地球温暖化の定量的影響評価（イベントアトリビューション）の結果から、現時点および将来において地球温暖化が降雨量を増大させることが試算されています。

| 水災害<br>（豪雨イベント）               | 既に生じている温暖化                                        | これから生じる温暖化                                    |
|-------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
|                               | 現時点<br>1980年以降における温暖化による気温上昇と海面水温の上昇による影響         | 将来<br>現在気候に対する将来気候での状況<br>（2℃上昇シナリオ～4℃上昇シナリオ） |
| 平成30年7月豪雨<br>（西日本）            | 総降水量が<br>約6.5% 増加 (1)                             | —                                             |
| 令和元年東日本台風                     | 総降水量が<br>約11% 増加 (1)                              | 将来さらに、総降水量が<br>4.4%～19.8% 増加 (3)              |
| 令和2年7月豪雨<br>（球磨川等）            | 総降水量が<br>約15% 増加 (1)                              | —                                             |
| 令和5年6月から<br>7月上旬の大雨<br>（九州北部） | 総降水量が<br>約16% 増加<br>線状降水帯の総数が<br>約1.5倍 に増加 (1)(2) | —                                             |
| 令和6年7月下旬の大雨<br>（東北地方日本海側）     | 総降水量が<br>20% 以上 増加 (1)(2)                         | —                                             |
| 令和6年9月の大雨<br>（石川県能登）          | 総降水量が<br>約15% 増加 (1)(2)                           | —                                             |

<注釈>

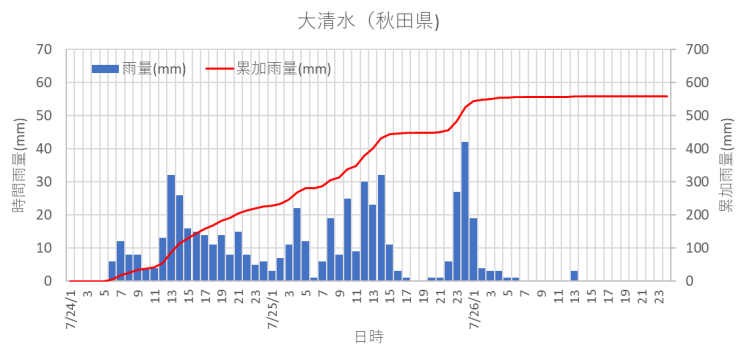
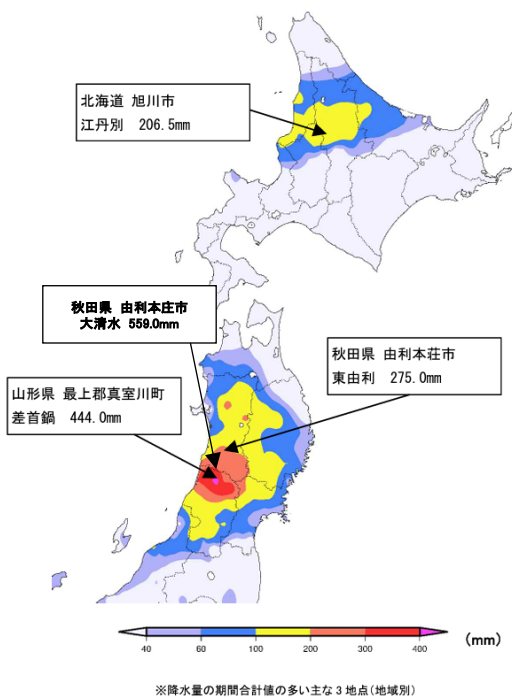
※それぞれの出典を元に、国土交通省水管理・国土保全局が作成。（(1):気象庁気象研究所により公表、(2):文部科学省により公表、(3):環境省により公表）  
 ※大気の数値シミュレーションを用いて実際の豪雨現象を忠実に再現した上で、地球温暖化に伴う気温上昇分を除去、または、さらに温暖化のシナリオに基づき気温を上昇させ、再度、大気の数値シミュレーションを行うことで、温暖化の影響を定量的に評価。  
 ※令和2年7月豪雨の総降水量増加率は、球磨川流域付近に発生した線状降水帯のみを評価したもの。  
 ※令和5年6月から7月上旬の大雨の総降水量増加率は、令和5年7月9日から10日に発生した九州北部の大雨を評価したもの。線状降水帯の総数増加率は、令和5年6月から7月上旬の大雨発生期間で評価。  
 ※令和6年7月下旬の大雨の総降水量増加率は、令和6年7月24日から26日に発生した東北地方日本海側の大雨を評価したもの。  
 ※令和6年9月の大雨の総降水量増加率は、令和6年9月21日から22日に発生した石川県能登の大雨を評価したもの。

## 我が国の水害リスクの現状

## 令和6年7月25日からの大雨による水害

## 概要

- 7月23日から26日にかけて北日本に停滞した梅雨前線や低気圧の影響で、北日本を中心に大雨となった。
- 23日から26日にかけての総降水量が400ミリを超えた地点や平年の7月の月降水量を超えた地点があり、記録的な大雨となった。
- 国管理河川、県管理河川あわせて39河川で、東北地方を中心に1,521棟(R7.3.24時点)の床上・床下浸水被害、69件の土砂災害が発生した。



観測史上1位の記録を更新した地点数

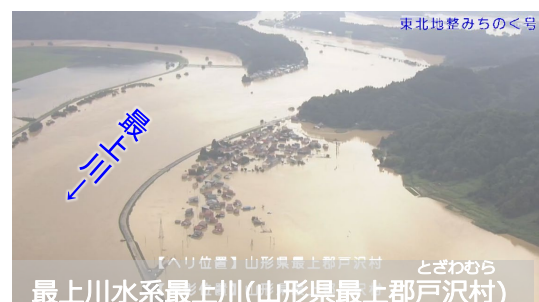
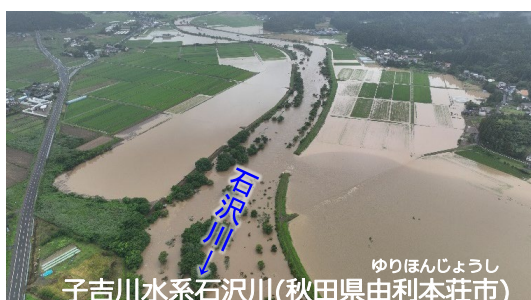
| 降水量  | 観測史上1位の値を更新した地点数 |
|------|------------------|
| 1時間  | 7地点              |
| 24時間 | 12地点             |



詳細な気象情報はこちら



とざわむら  
最上川水系最上川(山形県最上郡戸沢村)



【へり位置】山形県最上郡戸沢村 とざわむら  
最上川水系最上川(山形県最上郡戸沢村)

## 我が国の水害リスクの現状

## 令和6年7月25日からの大雨による土砂災害

## 土砂災害発生件数

69件

土石流等： 6件  
 地すべり： 9件  
 がけ崩れ： 54件

## 【被害状況】

人的被害：負傷者 1名  
 人家被害：全壊 10戸  
           半壊 14戸  
           一部損壊 9戸

7/26

がけ崩れ

 もがみぐんもがみまちせみ  
 山形県最上郡最上町瀬見


7/26

がけ崩れ

 きたあきたし あにみずなし  
 秋田県北秋田市阿仁水無

半壊：1戸



7/26

がけ崩れ

 もがみぐんふながたまちながた  
 山形県最上郡舟形町舟形

 負傷者：1名  
 全壊：1戸

7/26

土石流等

 さかたし きたあおさわ  
 山形県酒田市北青沢

 全壊：4戸  
 半壊：11戸


7/26

がけ崩れ

 もがみぐんさけがわむら かわぐち  
 山形県最上郡鮭川村川口

全壊：2戸



7/25

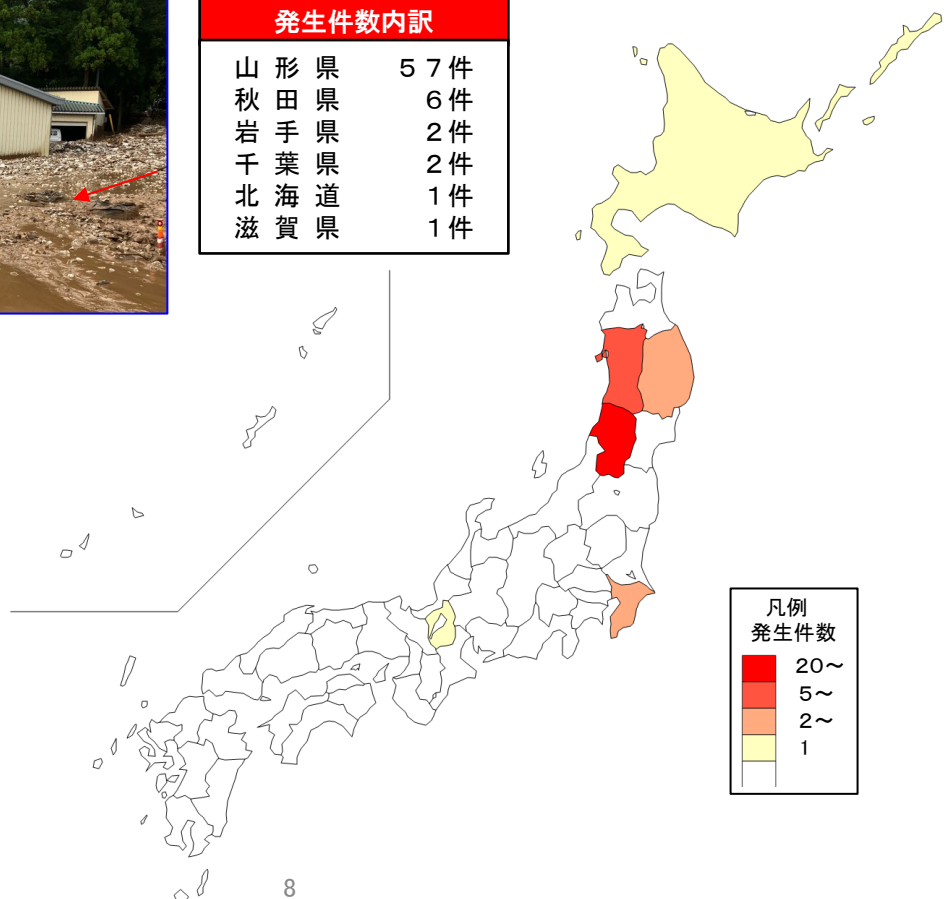
土石流等

 まいばらし いぶき  
 滋賀県米原市伊吹

 全壊：2戸  
 半壊：1戸  
 一部損壊：3戸


## 発生件数内訳

|     |     |
|-----|-----|
| 山形県 | 57件 |
| 秋田県 | 6件  |
| 岩手県 | 2件  |
| 千葉県 | 2件  |
| 北海道 | 1件  |
| 滋賀県 | 1件  |

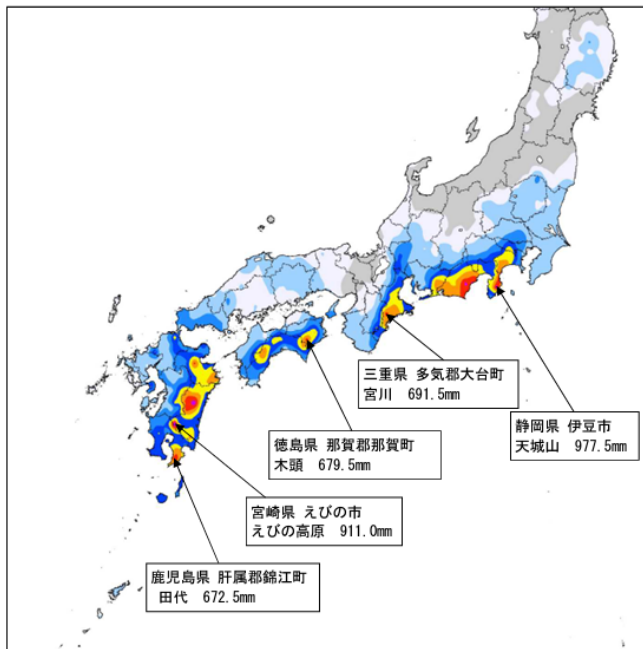
凡例  
発生件数
 20～  
 5～  
 2～  
 1

## 我が国の水害リスクの現状

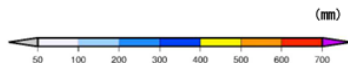
## 令和6年台風第10号による水害

## 概要

- 動きの遅い台風10号や太平洋高気圧の縁を回る暖かく湿った空気の影響が続いたため、西日本から東日本の太平洋側を中心に記録的な大雨となり、複数の観測地点で72時間降水量の観測史上1位の値を更新し、8月27日からの総雨量は、東海地方や九州南部で900ミリを超えるなど平年の8月の月降水量の2倍以上となった所があった。
- 国管理河川、都県管理河川あわせて43河川で、全国的に2,925棟(R7.3.24)の床上・床下浸水被害、157件の土砂災害が発生した。



※降水量の期間合計値の多い主な5地点

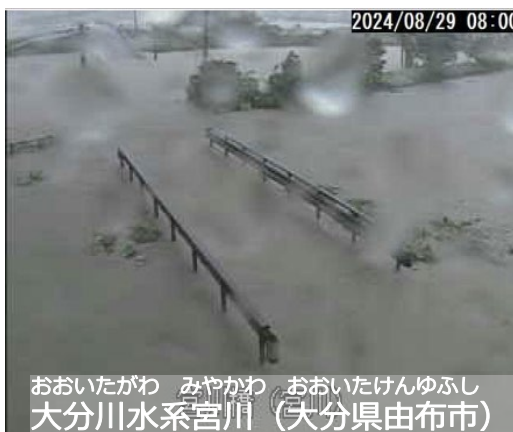


観測史上（年間・8月）1位の記録を更新した地点数

| 降水量  | 観測史上1位の値を更新した地点数 | 8月の1位の値以上を記録した地点数 |
|------|------------------|-------------------|
| 1時間  | 19地点             | 35地点              |
| 3時間  | 11地点             | 40地点              |
| 6時間  | 7地点              | 33地点              |
| 12時間 | 6地点              | 45地点              |
| 24時間 | 6地点              | 48地点              |
| 48時間 | 7地点              | 50地点              |
| 72時間 | 18地点             | 48地点              |



詳細な気象情報はこちら



## 我が国の水害リスクの現状

## 令和6年台風第10号による土砂災害

## 土砂災害発生件数

**157件**

〔土石流等： 18件  
がけ崩れ： 139件〕

## 【被害状況】

人的被害：死者 3名  
負傷者 3名  
人家被害：全壊 3戸  
半壊 2戸  
一部損壊 15戸

8/30

がけ崩れ

おだわらし しろやま  
神奈川県小田原市城山

全壊：1戸



8/30

がけ崩れ

あつぎし おの  
神奈川県厚木市小野

一部損壊：1戸



8/30

がけ崩れ

きつきし やまがまち  
大分県杵築市山香町

半壊：1戸



8/29

土石流等

しずおかし あおいくしいのお  
静岡県静岡市葵区慈悲尾

8/30

がけ崩れ

あたみし あたみ  
静岡県熱海市熱海

半壊：1戸



8/29

がけ崩れ

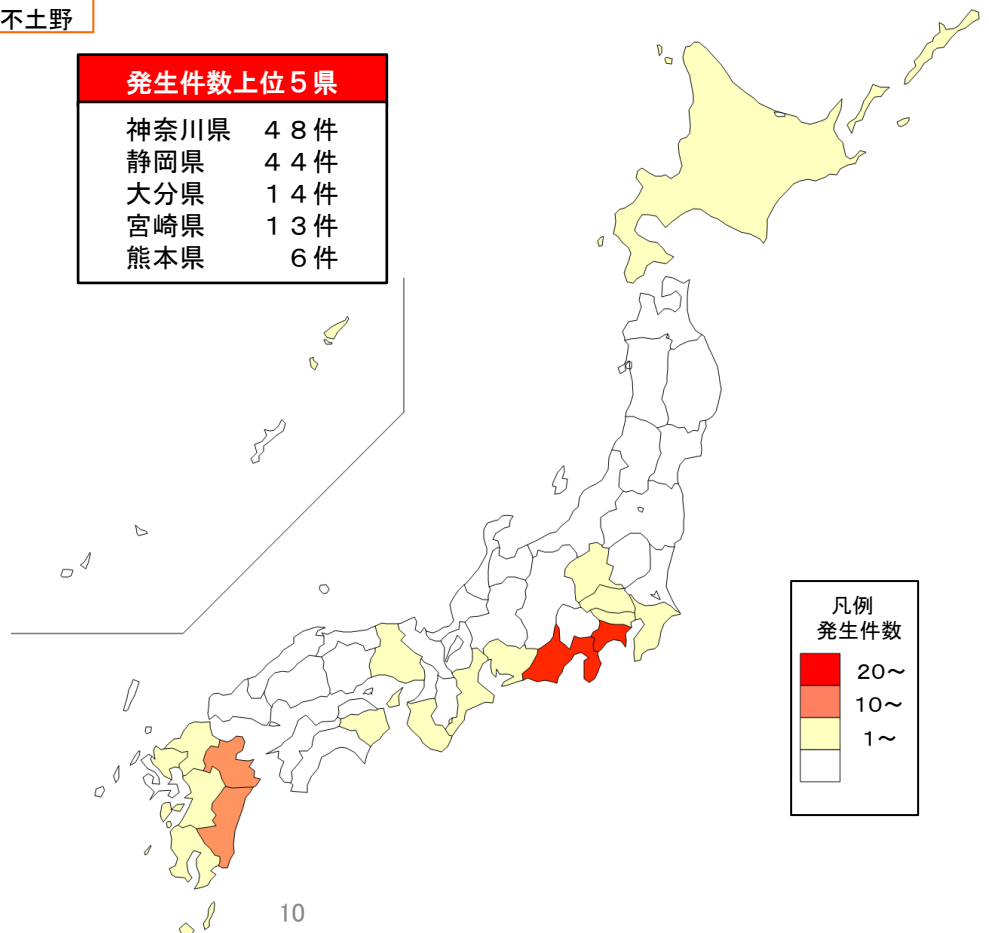
ひがしうすきぐんしいばそん ふどの  
宮崎県東臼杵郡椎葉村不土野

一部損壊：1戸



## 発生件数上位5県

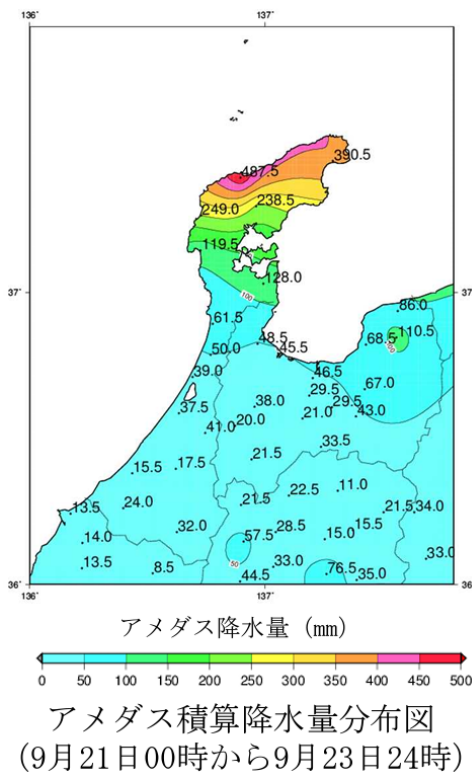
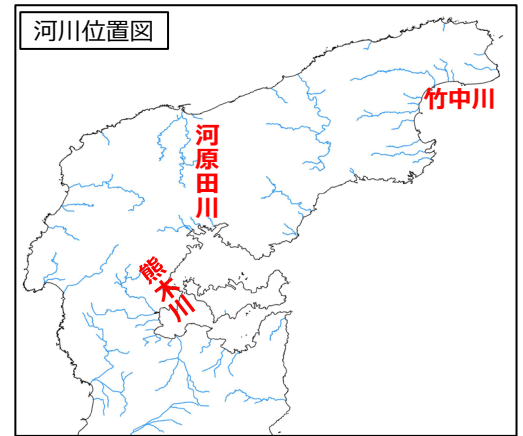
神奈川県 48件  
静岡県 44件  
大分県 14件  
宮崎県 13件  
熊本県 6件



## 令和6年9月20日からの大雨による水害

## 概要

- 9月20日頃から前線が日本海から東北地方付近に停滞し、22日には台風第14号から変わった低気圧が日本海から三陸沖へ進んだ。低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で大気の状態が非常に不安定となり、東北地方から西日本にかけての広い範囲で雷を伴った大雨となった。
- 特に、秋田県では20日明け方、石川県では21日午前中に線状降水帯が発生した。石川県の多いところでは20日から22日までの総降水量が500ミリを超え、9月1か月間の平年の降水量の2倍を上回るなど、北陸地方や東北地方の日本海側では記録的な大雨となった。
- 国管理河川、県管理河川あわせて29河川で、日本海側で1043棟(R7.1.28時点)の床上・床下浸水被害、278件の土砂災害が発生した。

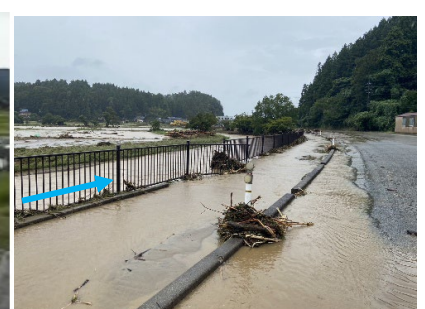


観測史上 (年間・9月) 1位の記録更新した地点数

| 降水量  | 観測史上1位の値を更新した地点数 | 9月の1位の値以上を記録した地点数 |
|------|------------------|-------------------|
| 1時間  | 3地点              | 21地点              |
| 3時間  | 4地点              | 26地点              |
| 6時間  | 3地点              | 21地点              |
| 12時間 | 2地点              | 18地点              |
| 24時間 | 5地点              | 13地点              |
| 48時間 | 8地点              | 27地点              |
| 72時間 | 14地点             | 43地点              |



詳細な気象情報はこちら

かわらたかわ  
河原田川(石川県輪島市)くまきかわ  
熊木川(石川県七尾市)たけなかかわ  
竹中川(石川県珠洲市)

## 我が国の水害リスクの現状

## 令和6年9月20日から大雨による土砂災害

## 土砂災害発生件数

**278件**

〔土石流等 : 84件  
地すべり : 31件  
がけ崩れ : 163件〕

## 【被害状況】

人的被害 : 死者 12名  
負傷者 3名  
人家被害 : 全壊 93戸  
半壊 103戸  
一部損壊 170戸

9/21

土石流等

すずし おおたにまち  
③石川県珠洲市大谷町

死者 : 1名  
全壊 : 17戸  
半壊 : 1戸  
一部損壊 : 12戸



9/21

がけ崩れ

すずしわかやままちひろぐり  
④石川県珠洲市若山町広栗

死者 : 1名  
全壊 : 1戸



9/21

土石流等

わじましまちのまちなみときくに  
②石川県輪島市町野町南時国

死者 : 1名  
全壊 : 1戸  
半壊 : 2戸



## 発生件数内訳

石川県 273件  
新潟県 2件  
宮城県 1件  
山形県 1件  
熊本県 1件



9/21

地すべり

わじまし まちのましかわにし  
⑤石川県輪島市町野町川西

9/21

土石流等

わじまし ふてがわまち  
⑥石川県輪島市久手川町

死者 : 4名  
全壊 : 4戸  
半壊 : 6戸  
一部損壊 : 8戸



9/21

土石流等

わじまし やまもとまち  
①石川県輪島市山本町

全壊 : 2戸  
半壊 : 5戸  
一部損壊 : 12戸

